令和5年

8月 支援センターだより

子育て支援センター
(TEL)74-2305

夏真っ盛りの８月は、家族や兄姉の夏休みで、これまでの生活のペースが変わったり、旅行や帰省で出かけたりすることが多くなります。生活・遊び共に時間的に動きの面でも余裕を持って、ゆったりと快適に過ごしましょう。暑さで食欲が落ちたり、睡眠不足や生活リズムが乱れたりすると元気なく不機嫌な様子が出てきます。水分補給を十分にするとともに口あたりの良い食事を工夫し、食事や午睡の時間を早めるなど心がけましょう。

８月の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 おはなし広場	3	4	5
6 休館日	7 休館日	8	9	10	11 休館日 山の日	12 休館日
13 休館日	14 休館日	15 休館日	16	17	18	19
20 休館日	21 休館日	22 離乳食教室	23 あそびの広場 避難訓練	24	25	26
27 休館日	28 休館日	29	30	31 かんがるー広場		

おはなし広場（要申込み）

✽8/2（水）　１０：４５～１１：１５
✽夏の絵本の読み聞かせや季節の歌などで楽しい時間を過ごしましょう。
※申込み7/２８（金）まで

あそびの広場・避難訓練　（要申込み）

✽8/２３（水）　１０：４５～１１：１５
✽触れ合い遊びや体操で伸び伸び体を動かして、楽しみましょう。
広場終了後に、避難訓練を行います。
※申込み8/１８（金）まで

離乳食教室（要申込み）

✽8/２２（火）　１０：００～１１：３０
✽町内の方（５組まで）を対象に離乳食教室を行います。
✽持ち物：エプロン・バンダナ・おんぶひも
水筒（水分補給）・材料費１００円
※申込み8/１６（水）まで

かんがるー広場（要申込み）

✽8/３１（木）　１０：４５～１１：４５
✽みんなで、うちわの制作をします。
自分のかわいいうちわを作ってみましょう。
※申込み8/２５（金）まで

◆『開館日』→毎週火曜日～土曜日（広いお部屋で自由に遊べます。）
◆『利用時間』→（8時30分～11時30分）・（13時～16時30分）
※未就学児は、お家の方と一緒の利用になります。
（0歳児から利用可能です。）
◆『休館日』→毎週日曜日・月曜日・祝日・年末年始

９月の予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 休館日	4 休館日	5	6 おはなし広場	7	8 タッチケア ブックスタート広場	9
10 休館日	11 休館日	12	13 かんがるー広場	14	15 親子交通教室	16
17 休館日	18 休館日 敬老の日	19	20 あそびの広場 避難訓練	21	22 音楽の広場	23 休館日 秋分の日
24 休館日	25 休館日	26 なかよし広場（乳児部）	27 なかよし広場（すくすく）	28	29 なかよし広場（幼児部）	30

おはなし広場　（要申込み）

✽9/6（水）　１０：４５～１１：１５
✽あーすまいりーずさんによる季節の手遊びや大型絵本で、楽しい時間を過ごしましょう。
※申込み　9/1（金）まで

かんがるー広場（要申込み）

✽9/13（水）　１０：４５～１１：１５
✽お友達と一緒に制作を楽しみましょう。
※申込み９/８（金）まで

タッチケア（要申込み）

✽9/8（金）　１０：００～１１：３０
✽持ち物：バスタオル・オムツ
✽講師：會田陽子先生
✽対象児：０歳児

親子交通教室（要申込み）

✽9/15（金）　１０：４５～１１：１５
✽町交通指導員さんから交通ルールの大切さを学びます。ぜひ、一緒に参加してみませんか？
※申込み９/１２（火）まで

ブックスタート広場（申し込み不要）

✽9/8(金)
✽対象：　生後４か月を迎えられたお子さんと保護者
✽場所：　健康福祉センター（４か月児健診の時に行います）
✽今回の対象児は、令和５年５月生まれのお子さんです。

あそびの広場・避難訓練　（要申込み）

✽9/20（水）　１０：４５～
✽大きなボールを使って、親子の触れ合いを楽しみましょう。
✽遊びの広場終了後に、避難訓練を行います。
※申込み９/１４（木）まで

なかよし広場（要申込み）

✽9/２６（火）わくわくこども園乳児部
9/２７（水）すくすく子ども園
9/２９（金）わくわくこども園幼児部
１０：００～１１：００（９：４５受付開始）
✽事前申し込みを1週間前まで、子育て支援センターにお願いします。
✽各自、希望された施設に集合してください。

音楽の広場

✽9/２２（金）　１０：００～
✽内容：楽しい音楽会
✽対象児：町内幼児施設のお友だち
みんなで楽しみましょう！！

子どもの自己主張とのじょうずなつきあい方

自己主張する子どものかかわりで大切なのは、子どもの自我を「受け止めて、切り返す」ことです。子どもの自我を受け止めているつもりでも実際は、「受け流して」いる場合が多くなりがちです。こどもが「ぼくの！」と主張したとき、「このおもちゃであそびたかったんだね」と冷静に優しく返されると、子どもは、「うん！あそびたいの！」と得意げに答えます。そんな表情をしたときがチャンス！です。ここで大人が、「〇〇したかったんだね」と受け止め、「でもね・・・」と優しく切り返します。心地よく「第二の自我」を育てるには、自我を受け止められる心地よさを保障することがポイントにまります。なかなか手ごわい時期ではありますが、子どもの「じぶんづくり」に大人は丁寧に向き合っていきましょう。

※お気づきの点やご意見等ありましたら、子育て支援センターか役場教育総務課子育て支援室（87-0518）までお寄せ下さい。